

令和7年度研修並びに活動方針・活動計画

- 1 管理職としての自覚を高め、資質の向上をめざす。
 - (1) 全国共通研究課題の解決・改善に向け、組織的・継続的に取り組む。
 - (2) 全国公立学校教頭会研究大会茨城大会及び九州地区公立学校教頭会研究大会大分大会に参加し、研究成果を共有して研修の推進を図る。
 - (3) 佐賀県公立学校教頭会研究大会を開催し、令和8年度の九州地区公立学校教頭会研究大会佐賀大会に向けて各地区における研修を深めながら、県教頭会の充実・強化を図る。
- 2 当面する教育課題の改善、充実に努める。
 - (1) Society5.0時代のICT技術の更なる発展進化、自然災害の発生、国際関係の変化など、予測困難な状況においても、一人一人の児童生徒が「持続可能な社会の創り手」として豊かに生きぬく力を育むために、主体性や創造力、思考力、表現力を育む教育課程の実施と学校運営に努める。
 - (2) 教育活動全体を通して「ウェルビーイングの向上」を視野に置き、「誰一人取り残さない社会の実現」をめざす。
 - (3) 「開かれた教育課程」の実現をめざし、家庭・地域との連携協力を密にした「地域とともにある学校づくり」を進める。
 - (4) 児童生徒の健全育成をめざす心の教育の推進と生徒指導の充実に努める。
 - (5) 児童生徒の安全確保のために、地域・家庭・学校が連携・協力して危機管理体制を構築し、役割と責任を持って職務遂行に努める。
- 3 教頭の専門性についての研究を深め、提言能力のある職能集団をめざす。
 - (1) 学校を組織的に運営するために、学校評価、教職員人事評価制度について実践的研究を深め、学校の活性化を図る。
 - (2) 児童生徒一人一人の個性や多様性に対応した指導の充実のために、教頭の指導性を高める。
 - (3) 教育DXの推進や生成AIを活用した個別最適な学びなど多様な学習に対応するために、教職員の研修の充実や施設・設備等の改善に努める。
 - (4) 働き方改革を推進するための業務の見直しとともに校務DX化の推進等の研修を深め、職場環境の改善に努める。
- 4 教育の質の向上や教員の人材育成に努める。
 - (1) 教育理論や最新の教育技術に関する情報を収集し共有して、研修に努める。
 - (2) 教育の質の向上をめざした持続可能な学校の指導・運営体制や人材育成の方法についての研修に努める。
- 5 教頭会の組織を強化し、活動の効率化と充実に努める。
 - (1) 組織の整備と機能的活動の強化に努める。
 - (2) 校長会その他の教育諸団体との連携を深める。